

特定非営利活動法人  
マナー教育サポート協会 会報誌

## 第28号

# マナーは愛



### <目次>

- |                                |              |        |
|--------------------------------|--------------|--------|
| ■ 笑顔で歴史刻む                      | 理事 澤村 晶子     | (P 1)  |
| ■ 賛助会員様インタビュー企画<br>菊地道子税理士事務所様 | 島崎 和子／大徳 はるみ | (P 2)  |
| ■ 感動リレーエッセイ⑦                   | 加藤 恵子        | (P 5)  |
| ■ 認定講師の誕生                      | 第16期生の皆さん    | (P 7)  |
| ■ 伝統的工芸品                       | 大徳 はるみ       | (P 10) |
| ■ 活動報告及び予定                     | 各事業部・業務サポート部 | (P 12) |
| ■ 正会員様と賛助会員様紹介                 | 事務局          | (P 14) |
| ■ 会員募集のご案内 運営体制 お問い合わせ         | 事務局          | (P 15) |

## 笑顔で歴史刻む

理事 澤村 晶子

春もまだ浅い3月17日、講師養成講座第16期生の認定証授与式が執り行われ、いつもとは違う緊張感のなか、3名の認定マナー講師が誕生しました。

思いの込められた謝辞に胸が熱くなり、目を閉じるとこれまでの様々な場面が思い出されます。そこにはいつでも、岩下先生の温かな笑顔と、受講生の皆さんが熱心にお話を聴くキラキラとした瞳が輝いていました。

丸一日の講座が終了した頃には、お一人おひとりが充実感と幸せいっぱい笑顔になり、いらしたときよりも元気になってお帰りになるように感じるので、これが講師養成講座の一番の魅力であり、これほど笑顔のあふれた講座は世の中に無いのではないかと考えております。

笑顔といえば、2月の極寒の平昌オリンピック。興奮と感動のなかで、日本中、そして世界中の人たちを魅了した、カーリング日本女子チームが、記憶に新しいのではないのでしょうか？

「もし笑顔という競技があれば、彼女たちは表彰台のトップに立つだろう」『英ガーディアン紙』、「彼女たちが笑顔を決やさないのは、笑顔が幸運をもたらすと信じているからだ」『米NBC』など、世界各国のメディアが、彼女達の自然体で常に笑顔を忘れない戦いぶりに注目しました。

日本でも『笑顔で歴史刻む』と紙面を飾った彼女たちの笑顔は、自らを、そして見ている全ての人々を幸せにしてくれました。

このカー娘の笑顔、実は、全くの自然なものではなく、意識して作られたものだそうです。以前、外国のチームが常に笑顔で困難を乗り越えていたのを見て、自分たちもそんなチームを作りたいと、チームみんなで考えたスローガンが「キープスマイル」。なんと笑顔の科学的効果を勉強する「笑顔会議」も積極的に開いていたそうです。

スポーツメンタルトレーニング上級指導士の方も、「笑顔には、前向きなコミュニケーション効果はもちろん、自分を客観視する効果があります。笑顔でいることで、よくない状況に感情的になるのを抑え、戦術を冷静に判断することを可能にするのです」とコメントしていました。笑顔にはすごい力があるんですね。

講師養成講座のなかでも、岩下先生がいつも笑顔の大切さをお話くださいます。

「笑顔にはたくさんの素晴らしい効果があります。脳を活性化したり、免疫効果を高めたり、自律神経も整えてくれる。だから辛い時ほど笑顔で挨拶しましょう！笑顔でいれば、自然と気持ちが楽になる。30分めそめそしたら、細菌を殺す白血球が20%も減ってしまうのよ！」

真剣な面持ちの受講生の皆さんが、だんだんと笑顔になっていきます。笑顔のあふれたあたたかな教室は、なんとも心地よいものです。

この4月からは、またあらたに初級講座と中級講座がスタートしました。講師養成講座での学びが一生の宝物となっただけのように、これからもサポートしてまいります。

そして、マナー教育サポート協会から、たくさんの笑顔が伝わり、たくさんの幸せが皆様に届けられますように祈っております。



## 賛助会員様インタビュー企画

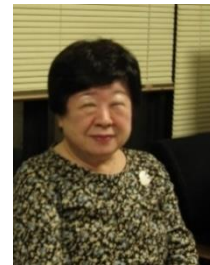
### 菊地道子税理士事務所様

取材：島崎 和子/大徳 はるみ

私どもの活動においてご指導ご支援を賜っている企業や団体様をご紹介させていただくコーナーです。今回は、菊地道子税理士事務所 菊地道子先生にお話を伺いました。また、菊地先生には2007年秋から監事としてご指導をいただいております。

#### 一賛助会員になるきっかけは

マナー教育サポート協会の経理部長をしている向山邦子さんから、監事の依頼を受けまして、向山さんを信頼していますのでお引き受けしました。スタッフの皆さんが頑張っている姿に賛同し、賛助会員になりました。



#### 一税理士になるまで

税理士試験は、科目合格制でしたから科目ごとに受けられるのがよいと思いました。それと、色々な人と話をするのは、それぞれに一理あり楽しいので、それで志を新たにしました。

資格試験というのは、資格がとれてからが出発点です。税理士試験に合格しても実務を経験していないということで、会計事務所で色々なことを勉強させてもらい、3年くらい働いて独立しました。

#### 一仕事のこと

人に会うことが好きですから、お客様から書類を頂いてさっさと帰ればよいところ、1年間の出来事を話してくださるので伺ったり、私も報告を兼ねて、おしゃべりしたりするので仕事がたまってしまいます。でも、それはそれで楽しいのです。2月、3月は忙しいけれど、とても楽しい時期でもあります。

以前は御苑の方で相棒と共同で業務をしていましたが、大切な相棒が脳梗塞で倒れ、今は自宅ですべてひとりで、気楽に仕事をしています。

会社や個人、弁護士さんからの相談業務、相続や単発の譲渡等、一つひとつ片付いていくと達成感があり、やりがいがあります。お客様の愚痴話、諸々の相談も受けながら仕事をしています。定年がなく元気であれば働き続けられるということも、よいことで有り難いです。ただ、これからの税理士は、英会話もできたほうがよいですね。

## 一 マナーとは

マナーはこうしなければいけないと規制がかかるのは少し違うと思いますし、堅苦しく思います。他人に迷惑をかけないように、形にこだわらないで、人間関係をスムーズにする潤滑油のようなものだと思います。

今は、ひとつの判断基準ではなかなか評価ができなく、なんでもありの時代ですから、臨機応変に対応できることがすごく大事です。その場、その場で、相手に気持ちよく接する、それもマナーではないですか。

子供は親の行動を見ているとそれでよいと思ってしまいます。子供にマナーを伝えることはもちろんですが、子供を育てる親の教育も大事ではないかと思います。知らずにいるのは大人のせい。まずは、大人がお手本になって、美しい所作を見てもらうとか、子どもの視覚に入るようにするとか、この様にして子供も覚えていくと思います。

家庭の躰が大事、親の教育が基本だと思います。日々すりこまれることは理屈じゃあないと思いますね。

## 一 鏡の顔

知人に、結婚のお祝いに鏡をプレゼントする方がいます。それは「家に大きな鏡を置いて自分の姿を見るように。その時に、怖い顔、不満の顔、悲しい顔、良くないことを思うと悪い顔になるよ。いつも良い顔をしているような毎日を送ってほしい」とのメッセージです。

私も、なるほどと思いました。自分の顔は自分で見えない。だからどんな顔をしているかが大事なのかなって思います。親が子に、鏡を見てみなさいと教育するのもよいですね。

## 一 当協会について

今年で、16期になり基盤もできてきたようです。皆さんが、目的を達成するためにこんなにも一生懸命に頑張っていて活動をしていらして。目的、あるいは自分の満足感や充実感、生きがいだとか、そういったものが得られれば、活動をしている価値があることです。

岩下理事長が大好きで集まった人たちで、目的を達成するために、みんな一丸となって、活動を続けていってください。

なんとかうまく、皆さんの望みが少しでも叶うよう、その思いが通じて形にあらわれるようになってほしいなって思っています。それで微力ながらも私に協力できることがあればと思います。

皆さんの努力が報われることを願って、祈っております。

### ＝向山 邦子さんの話＝

菊地先生と一緒にお仕事をしていた相棒の方が  
17年前に脳梗塞で倒れてしまい、今も透析を続  
けながら頑張っているそうです。

5歳くらいの年齢になり、お身体も思うように動  
かせなくなりましたが一命を取り留めて、ベッド  
での生活になりました。

お世話になったということで、いまでもご家族同様  
長いお付き合いをされています。

時には車で旅行に連れていかれたり、コミュニケーションをとられたりして、  
心を癒してあげているようです。

ほぼ毎日電話で「大好きな、大好きな、堀田さん、今日は野球どこが勝った？  
良かったねー」と、ラブコール（生き甲斐コール）を送っています。実践は宝です。  
そんな暖かい菊地先生が、向山の家族は大好きです。



菊地道子先生 向山邦子さん



とても気さくな菊地先生でした。当協会を気にかけてくださり、ありがとうございます。

「マナーは愛」各々が生活の中で愛の行為を実践していくことが大事だと思います。自分の  
周りから Happy の輪が広がることを願い活動を続けて行こうと思いました。

## 感動リレーエッセイ⑦

認定講師 加藤 恵子

人生を82歳まで生きられるとして、約3万日。その時間の中で、接点を持てる人は1回だけの出会いを含めて、約3万人だそうです。

「マナー教育サポート協会」の活動の中で、年齢を超えたたくさんの人たちとお会いできるのは、「一期一会」と、ご縁に深く感謝しています。

講師として中学校に伺ってから、早いもので11年になります。

中学生の「職場体験」事前マナー研修に伺う時、心掛けていることは、生徒さんの心の扉をノックして開けたい。と、いうことです。



最初からウエルカムの生徒さんばかりだと何の問題もないのですが、なんと言っても14歳！！ 最初から興味を示して下さる生徒さんは多くありません。マナーなんてウザイけど、授業だから聞こうか。と、いう生徒さんが大半だと思います。

(これが3年生向けの面接指導だと、全く様子が変わるのですが…)

岩下先生が教えて下さった「マナーは愛」は、

- ① 相手に関心を持つ
- ② 相手の気持ちを慮る、思いやりの気持ち。
- ③ 相手の、今の状況を考える。
- ④ それに合わせた言葉や行動をとること。

これらのことを、生徒に興味を持ってもらう。考えてもらうために、具体的な言葉でイメージできる話をしたい。

自ら考えて理解できたことは忘れない。と、これも岩下先生から学んだことです。

中学生に興味があることを探すため、新聞や本、テレビなども、これまでと違う目線で見られるようになりました。



職場に行くと、年齢や立場の違う人と、話をしたり仕事を教えてもらったりしています。

10年程前のことです。マナー研修に伺う前の、担当の先生とのやりとりの中で、お悩みのFAXをいただいたことがありました。

「家族や学校以外の人と、お話しする機会があまり

ないので、きちんとお話しするのが苦手な生徒が多い。どう言ったらいいのか分からず、ただ黙ってしまう。職場に行って大人の方に失礼のない振る舞いが出来るのか」と、いうご心配事でした。

10年前より今の方が、ご近所や親戚とのお付き合いが希薄になっている分、大人と話す機会はずっと減っていると思います。

生徒が職場体験中、仕事を深く体験できるか浅いものになるか。それによって今後の【就労意識】も変わってくるかも知れない。と思うと、大事な事前研修を、私共「マナー教育サポート協会」にご依頼いただいたことに身が引き締まる思いがします。

「職場体験」事前マナー研修では、第一印象の大切さや挨拶など、実技の他に必ず伝えていることがあります。

それは、「はい」という返事の大切さ。「はい」の返事は感じて書くと「拝」

相手を敬う言葉だよ。名前を呼ばれたり、用を頼まれたりしたら、まず「はい」と元気良く返事してから行動してね。と話します。

それから、「NHK」を忘れないでね。と、付け加えます。

Nは、「にこにこ」

Hは、「はきはき」

Kは、「きびきび」

にこにこ、はきはき、きびきびしていたら、きっと職場の皆さんから可愛がってもらえるよ。実りある体験が出来ます。

今年も、たくさんの生徒さんとの出会いに恵まれますように！



次は、高橋 清美さん にバトンタッチ！

## 協会認定マナー講師誕生

### 第16期生の皆様 おめでとうございます



＜合格者＞ 小田桐 邦子 小山 由美子 鈴木 育子 \*敬称略

平成30年3月、新たに3名の「協会認定マナー講師」が誕生いたしました。そこで、認定講師の方々に、認定証授与式後の感想をご寄稿いただきました。皆さまの更なるご活躍をお祈りいたします。そして、これからもご縁がありますようにと願っています。

## 感謝の気持ちをこめて

認定講師 小山 由美子

開講式から認定証授与式まで、あっという間の1年半でした。岩下先生、澤村先生をはじめ、お世話になりました諸先生方、本当にありがとうございました。

思い起こせば一昨年前の春、NTT ユーザ協会のマナー研修に仕事の一環として参加しました。凜とした岩下先生の人を惹きつけるオーラ、姿勢の美しさ、言葉の温かさに心を奪われました。運命の出会い、神様の引き合わせ、なりたい自分の姿がそこにあったのです。

仕事、シングルマザー、介護と、今まではなかなか最初の1歩が踏み出せなかった私でしたが、講座の受講に迷いはありませんでした。

「マナーは愛」…この言葉が私の勉強する糧となりました。

澤村先生の心づかいという伴奏での岩下先生のお話は、思いやりの心と相手を大切にする



心の主旋律に、伝えていかなければいけない日本の文化、所作や作法がやさしいアンサンブルになって、私の心に響きました。温かく心地よい環境で毎回受講出来た事、一緒に勉強した16期生の方との出逢い、楽しかったランチタイムは幸せな時間でした。慌ただしい日々の中でも、講座の前夜の私は、「明日、起きるのが楽しみだな」と、胸が躍り、心が弾みました。子供の頃はそう思う夜がたくさんあったのに、大人になるとそう思える事がなかなかありません。だからこそ、そんな気持ちになれた時間はかけがえのないものでした。

認定証授与式が終わり、淋しい気持ちで一杯ですが、凜としたマナー講師になれるようにこれからも大好きなマナーの勉強を続けていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいいたします。

## 学んで変わった2年半

認定講師 鈴木 育子

長かったなあ。

認定証授与式を終えた後の率直な感想です。

私は初級コースと中級コースの途中に体調を崩してしまい、お休みの期間を含めると2年以上お世話になっています。

そのため最初は人より長い期間費やしたことでそのように感じたのだと思いました。

しかし振り返ってみると、時間的な長さ以上にマナーに対する”ネガティブな感情”が起ったこと。これが大きく影響していると気付いたのです。

そもそも私は人の目を気にしすぎるタイプの間人。マナーを勉強しようと思ったきっかけも“人前で恥ずかしい思いをしたくない”というものでした。

開講して最初の講座で新渡戸稲造の『武士道』を紹介された際、正直痛い所を突かれたと思いました。私の行っていたマナーは体裁ばかりを気にしており、浅ましい行為だったので。人目や体裁ばかり気にしてはいけません！相手に対する思いやりが大事！これらを理解していたつもりです。

しかし、いざ普段の生活で実践した時に（あっ失敗しちゃった。誰か見ていたかな）（今の対応、失礼に思われたかな）と自然と思っていたのです。

机上では理解したつもりマナー。しかし、（実際に身につけていないのではないか）（これ以上マナーを学んでも人目を気にし過ぎてしんどくなるだけではないか）と不安になり、楽しくて始めたはずのマナーの勉強が重荷になってしまったのです。

このようなモヤモヤした気持ちを引きずりながら月日は流れ、プロフェッショナルの勉強を始めた頃です。職場の仲間や家族からマナーについての質問を受けることが増えてきまし



た。マナーに関して頼りにされたことに喜びを感じると共に伝えることが楽しくなってきたのです。「納得！」と笑顔で言ってもらえたとき、マナーを勉強していて本当に良かったと心から思えました。以前のようにマナーが面白くなり始めた瞬間です。

これからは恥ずかしい思いをしたくないからではなく、笑顔のため、楽しい気持ちになるためにマナーの力を借りたいと思っています。

ここまで乱文、長文を読んでもくださりありがとうございました。

最後に、広くあたたかいお心で見守ってくださいました岩下先生、協会の皆様、感謝の気持ちでいっぱいでございます。これからは頼もしい先輩方をお手本にマナーの勉強に精進して参ります。今後とも末長くどうぞよろしく願いいたします。

## 岩下先生から学んで

認定講師 小田桐 邦子

この度、認定試験に無事合格いたしました。

岩下先生を始め、諸先生方からたくさんの学びやお力添えを頂いたおかげです。本当にありがとうございました。心より感謝いたしております。

私も岩下先生に憧れ、先生から学びたいと、この2年間毎月青森から上京いたしました。講座が毎回楽しみで、楽しみで、わくわくしながら新幹線で通いました。



講義はテキストを覚えるというだけでなく、実技や実習が多くあり、楽しみながら自然と自分のものにする事ができました。

学ぶ楽しさもお教え下さった事、今度は私達が同じ様に生徒の皆様にお伝えしていきたいです。

そして、いつも明るく、素敵な先生方から教わった事があります。それは「健康で明るくいることも仕事の内」ということです。

いつも自分が明るく心身が健康であれば、相手に気を使わずゆとりができ、相手に合わせた対応ができます。それもマナーの一つだと学びました。私もそのような講師に、そのような女性になりたいと思います。

また、先生の元に全国から集まる方々と良いご縁ができた事も私達にとって大きな財産です。このご縁を大切に、先生からの教えを大切に、マナーを楽しんでいきます。ありがとうございました。

## 伝統的工芸品

### ～瀬戸染付焼【愛知県】～

業務サポート部 大徳 はるみ

19世紀の初めに、瀬戸村（後の瀬戸市）出身の陶工、加藤民吉が九州の地で磁器の製法を身につけて、瀬戸に持ち帰り広めたことが起源となっています。その後、絵の専門家から指導を受けて絵付技術が発展していき、19世紀中期には製造や絵付の技術が確立されました。

始めは、陶器（木業焼）に染付を施した陶胎染付が行われ、磁器（新製焼）の染付と共に現在も生産されています。

瀬戸染付焼きは、手描きの伝統的技術・技法を受け継ぎながら、新しい表現のデザインを取り入れたモニュメントなどが瀬戸市の様々なところに置かれ、街の風景に溶け込んでいます。

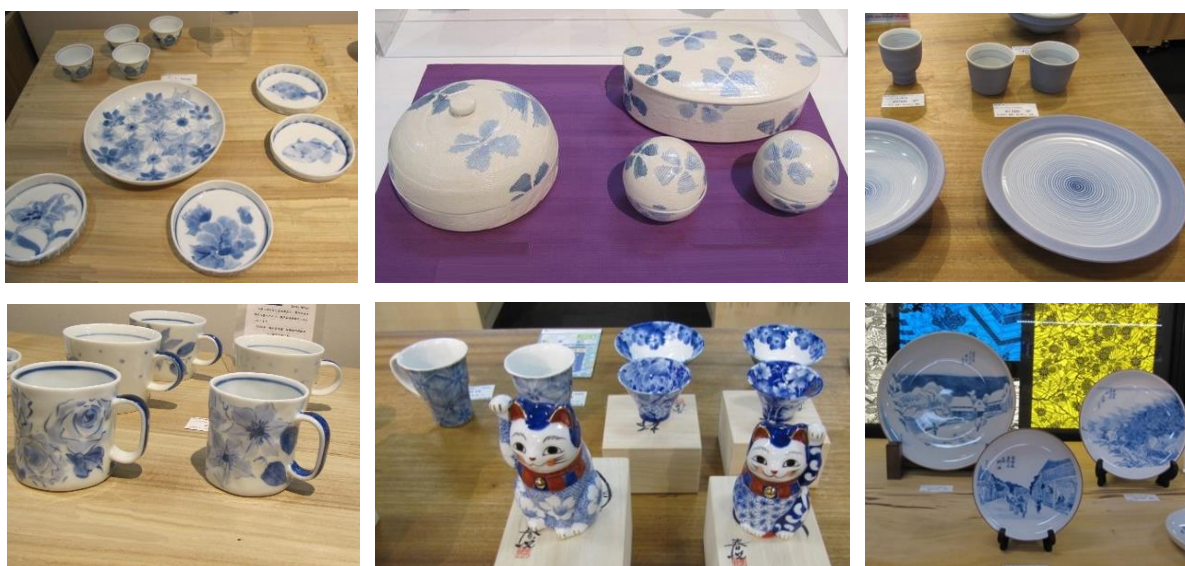
染付とは、白地の素地に絵付を行い、その上に軸薬をかけて焼成したものをいいます。特徴は、瀬戸特有の粘土で素焼きした生地の表面に、コバルト顔料（呉須と呼ばれる絵の具）による主に藍色の単色の濃淡から生まれる色彩で、表面に直接筆で、細かい模様を描く、「ダミ」、「つけたて」、「線書」などの技法で描き上げる下絵付けにあります。

潤いを持つ絵にするための本焼成「ねらし（一定時間窯の温度を高温のまま維持し施釉を熟成させる）」技術は、瀬戸地区の特徴となっています。



昔は「一子相伝」、長男のみに陶業を継がせる窯屋仲間の取り決めがあったといいますが、今は誰でも継げるようになりました。瀬戸はよい土が採れるので色々な焼き物ができます。

昭和50年ごろまでは産地問屋が買付けに来てくれていましたが、今は売りに行く時代、作っても売れないと瀬戸染付にかかわる人たちに教えていただきました。



## 一級陶磁器技術士

### 岩右衛門窯 加藤陽一様

瀬戸伝統の石皿「馬の目皿」は、今も骨董としてコレクターが多い器のひとつです。

江戸時代は、庶民用の雑器として使われていました。手描きの皿はどれ一つ同じ表情はない、それが手仕事の魅力であります。

これを継承している八代目の加藤陽一様に思いを伺いました。



僕は、先代が作り続けている伝統を維持しつつ、趣味の焼き物もやっついこうと思います。焼き物は、焼き上げてみないとわからない。色の具合や土の状態、土に白い遺物が混入してしまうと点々が出てしまう、焼成具合とか、最後の焼きあげで決まるところが魅力であり、神経を使って難しいところです。



感動は 1,200 度以上で焼いて、火を止めて3日間くらい置いてから窯出しをするとき、それを待っている間がもの凄く楽しみです。

長い歴史があって、今がある。各産地の個性を大切にしつつ、現代の生活に合わせて新しいことを取り入れていかねばと思います。

手作りの優しさ、手描きの温もりを見ていただいて、ひとつでも生活の中に取り入れていただけるとありがたいです。

# 活動報告及び予定

## 活動結果報告（第 15 期下期：2017/10/1-2018/3/31）

### 【講師養成事業部】

- 10月 第17期生 初級コース開講  
第16期生 プロフェッショナルコース開講
- 2月 初級コース終了試験  
プロフェッショナルコース認定試験
- 3月 認定証授与式・祝賀会（第16期生）

### 【研修事業部】

#### ◆中学校等を対象にした講演

- |     |     |                                                                                         |                                                                            |
|-----|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 10月 | 千葉県 | 浦安市立入船中学校様<br>千葉市立稲毛中学校様<br>千葉市立小中台中学校様                                                 | 浦安市立高洲中学校様<br>千葉市立加曾利中学校様                                                  |
|     | 東京都 | 江東区立第二大島中学校様<br>葛飾区立東金町中学校様                                                             | 江東区立深川第六中学校様<br>中野区立緑野中学校様                                                 |
| 11月 | 東京都 | 足立区立千寿桜堤中学校様<br>江戸川区立西葛西中学校様<br>葛飾区立水元中学校様<br>世田谷区立砧南中学校様<br>練馬区立豊玉第二中学校様<br>目黒区立第十中学校様 | 荒川区立諏訪台中学校様<br>江戸川区立篠崎第二中学校様<br>新宿区立西新宿中学校様<br>中央区立銀座中学校様<br>練馬区立光が丘第二中学校様 |
|     | 静岡県 | JFAアカデミー福島様（女子）                                                                         |                                                                            |
| 12月 | 東京都 | 板橋区立志村第二中学校様<br>江戸川区立南葛西第二中学校様                                                          | 江戸川区立松江第五中学校様                                                              |
|     | 静岡県 | JFAアカデミー福島様（男子）                                                                         |                                                                            |
|     | 大阪府 | JFAアカデミー堺様                                                                              |                                                                            |
| 1月  | 東京都 | 足立区立第十三中学校様<br>江戸川区立鹿骨中学校様<br>江東区立深川第四中学校様<br>新島村立新島小学校様                                | 荒川区立諏訪台中学校様<br>江戸川区立瑞江第三中学校様<br>練馬区立三原台中学校様                                |
|     | 静岡県 | JFAアカデミー福島様（男子）                                                                         |                                                                            |
| 2月  | 静岡県 | JFAアカデミー福島様（女子）<br>JFAアカデミー福島様（男子）                                                      |                                                                            |
|     | 大阪府 | JFAアカデミー堺様                                                                              |                                                                            |
|     | 愛媛県 | JFAアカデミー今治様                                                                             |                                                                            |

#### ◆中学生の親を対象にした講演

- 2月 千葉県 千葉市立稲毛中学校様

◆未就園児の親を対象にした講座

- 10月 神奈川県 綾瀬市立中央公民館様  
 11月 神奈川県 綾瀬市立中央公民館様

◆社会人を対象にしたワークショップ

- 3月 レゴ®ブロックを使って「マナー」を真面目に考える  
 お題：第一印象を考える

【業務サポート部】

- ・伝統工芸品の紹介
- ・会報誌の作成
- ・ホームページの維持管理

【花天の会（協会認定マナー講師の会）】

- 12月 勉強会 講演内容 床の間の成り立ち  
 講師 根本 知 先生
- 3月 勉強会 講演内容 二十四節気「日本の四季と旧暦」  
 講師 片岡 省治先生

活動予定（第16期上期：2018/4/1-2018/9/30）

【講師養成事業部】

- 4月 第18期生 初級コース開講  
 第17期生 中級コース開講

【研修事業部】

- 4月 埼玉県 東洋大学様  
 神奈川県 市村自然塾 関東様（男子）（女子）
- 5月 東京都 荒川区立第五中学校様 文京区立本郷台中学校様  
 静岡県 JFAアカデミー福島様（女子）
- 6月 東京都 足立区立第六中学校様 足立区立花畑中学校様  
 北区立稲付中学校様 文京区立茗台中学校様  
 目黒区立第九中学校様 北区立明桜中学校様  
 静岡県 JFAアカデミー福島様（男子）
- 7月 埼玉県 富士見市立西中学校様  
 東京都 立正大学付属立正中学校様 江戸川区立松江第三中学校様  
 千葉県 八街公民館様

\*上記ほか、現在ご検討いただいている学校・企業がございます。

～これからも多くの方々のマナーの応援をして参ります。～

## ご支援いただいている皆様

- イーハウス・アーキ・コラボレーション様 (<http://www.e-house.gr.jp/>)
- 株式会社NSGコーポレーション様 (<http://nsg-corp.net/>)
- 株式会社NTTデータ様 (<http://www.nttdata.co.jp/>)
- レストランおまかせ亭様 (<http://www.omakasety.com/>)
- 海上商事株式会社様 (<http://www.kaijoshoji.co.jp/>)
- 菊地道子税理士事務所様
- 興南プレス工業株式会社様 (<http://www.tcn-catv.ne.jp/~kounan-press>)
- コメスタ・ドーム株式会社様 (<http://comestadome.jp/>)
- 株式会社スリーライト様 (<http://www.threelight.co.jp/>)
- 株式会社タケダ様 (<http://www.kitadoco.jp/>)
- 株式会社峠喜重朗商店様 (<http://www.to-ge.co.jp/>)
- 株式会社雄大様 (<http://www.udai.co.jp/>)
- 吉井商事様 (<http://www.yoshiishoji.com/company/>)
- NPO法人りすシステム様 (<http://www.seizenkeiyaku.org/HP/home.html>)

相津美幸 荒井美智子 有岡啓太 飯野真梨子 伊藤賢二 伊藤康子 稲垣綾  
 今村光子 岩下宣子 岩下美和子 岩下義弘 内田安紀子 梅津稔 梅本久美子  
 大竹奈穂子 大畑麻綾 大藪昌代 岡田愛子 岡部達昭 小田桐邦子 折原みよ子  
 香月泰 加藤恵子 加藤幸子 金子昭信 川岸秀子 岸田輝美 木ノ原誠司  
 忽那美江子 熊澤厚子 藏満勝子 石原恵美 小島洋子 古関裕美 小松俊一  
 小山由美子 佐々木恵美子 佐藤元昭 澤村晶子 重松照代 島崎和子 鈴木育子  
 鈴木敏夫 鈴木初江 鈴木美和 大徳はるみ 高野和文 高橋清美 尋木浩司  
 田辺由香里 土田美子 都築サチ子 鳥山真美 長塩由美 長島佳美 中野英行  
 中山有子 根岸美紀 野田頭よし子 林三紀 原田さとみ 原田なおみ 原田芳宏  
 藤野勲 保木本清美 星野久子 前田美智子 松井直美 松井憲子 松尾祐子  
 松本桂樹 松本智子 三浦和昌 三浦順一郎 水倉直美 南節子 壬生実佳子  
 向山邦子 向山ひろ子 向山代志子 村上直子 元山昌子 森下はるみ 山本淳子  
 湯浅智子 吉村景美 和田香代子 渡邊ひろみ

(五十音順、敬称略)

表紙の写真(里に咲く 横浜市瀬谷区の白鳳庵)

今回の写真も昨年秋に続き、写真愛好家 上遠野 浩 様のご厚意によるものです。

## 会員募集のご案内

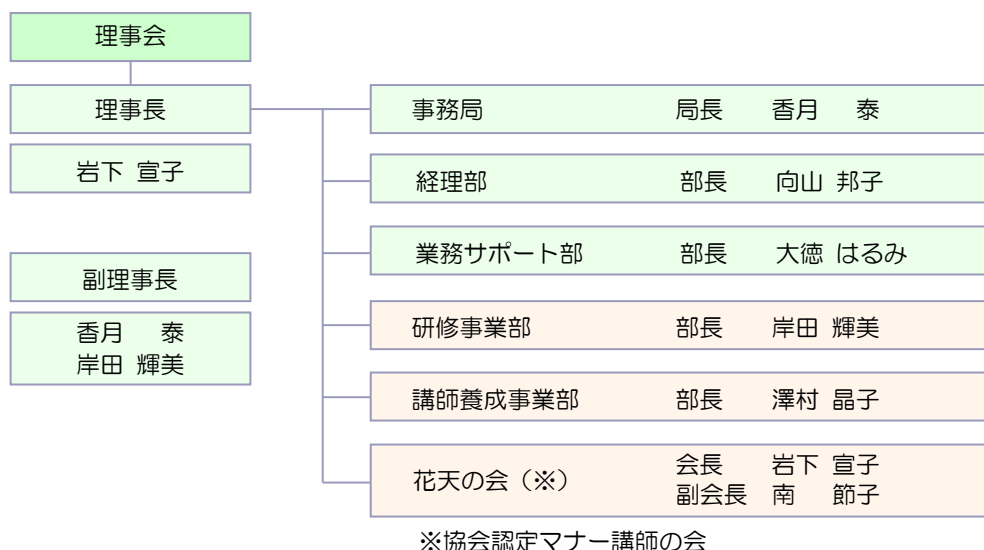
会員は、活動主旨に賛同し、支援して下さる個人または法人の皆様です。

年会費 正会員（個人） 5,000円  
 賛助会員（個人） 2,000円  
 賛助会員（法人） 1口 10,000円 より

私たちの活動にご理解を賜り、ご支援ご協力くださいますようお願いいたします。

## 運営体制

活動を円滑に進めるために次のような運営体制を設けております。



## お問い合わせ

特定非営利活動法人 マナー教育サポート協会

認証番号：15 生都協市特第 1585 号（平成 15 年 10 月 20 日 東京都）

所在地：〒103-0003 東京都中央区日本橋横山町 4-13 太田ビル2階

電話：03-3527-3925

FAX：03-3527-3935

メール：e-manners@eagle.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.e-manners.org

※不在の時もごさいます。ご用の際はご予約をお願いいたします。

メールをお送りいただければ助かります。

2018 年 5 月 17 日発行（年 2 回発行予定）

発行・編集・制作 特定非営利活動法人マナー教育サポート協会 印刷 株式会社雄大

Copyright© 2018 NPO Manners Support Association. All rights reserved.